

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	そだちHOUSE		
○保護者評価実施期間	R6年11 月25 日 ～ R6年12 月14 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○従業者評価実施期間	R6年12 月2 日 ～ R6年12 月14 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年1 月7 日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	少人数だからこそできる、細かな支援や1対1の個別の関わりができる。	職員配置をしっかりとすることで、個別でも対応できるようにしている。	こども1人ひとりの情報共有をする。支援内容に応じた環境設定をする。
2	外部からの専門員（言語聴覚士・理学療法士・作業療法士）が来所し、質の向上を図る。	個々の特性について、適切な助言をもらうことができる。	来年度より心理士が来所し、こどもの心身の面も助言してもらえる。
3	職員同士で連携して支援を行っている。	支援前に職員間で打ち合わせを行い情報共有している。	情報共有を大切に行い支援をしていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	広い園庭がない。	広い園庭の確保が難しい。	天気の良い日は、なるべく公園に行き身体を動かすようにしている。
2	玄関が狭い。	玄関の置物を減らしていく。	こどもが出入りするときは、混雑しないように一人ずつ時間差で動けるように工夫している。
3			